

みんなの力で平和と福祉ゆたかなまちをきずこう

しあわせ

発行日 2024年10月

発行所

社会福祉法人 大阪福祉事業財団
(障がい児入所施設) 豊里学園
(障がい者支援施設) あさひ希望の里
(乳児院) すみれ乳児院

発行責任者

旭ブロックブロック長 豊里学園 園長 山中ひろみ

大阪市旭区太子橋1-16-24

TEL: (06) 6951-2066 FAX: (06) 6951-2541

豊里学園

あさひ希望の里

すみれ乳児院



グループホームの生活 自分らしい生活を送るために

あさひ希望の里では現在、4つのグループホームを運営しており、23名の方が利用されています。年齢も障害も様々な方々が共同生活を行なっています。みなさま障害による生きづらさを抱えており、「住み慣れた地域で安心して快適に暮らしたい」と考えておられます。今回は、『きりぎりす』『ふわふわ』をご紹介します。



水分補給でホッとひと息

『きりぎりす』『ふわふわ』は旭区赤川にあります。定員10名のホームで今年の3月に新規開所しました。これまで段差が多く、すきま風も多かった古いホームから移転した6名に加え、新たに2名の方を迎え入れました。



きれいになったお風呂

移転前には「今日はお風呂には入りません」と言うことが多かった方が、毎日の入浴を楽しみにされるようになりました。

「部屋が広くてきれいになったのでうれしいです」と移転当日に話してくださいました。スタッフは新任が多いのですが、利用者さん一人ひとりの思いに寄り添うことを大切にして、関りがうまくいかなかった時などは、みんなで意見を交わし、よい支援ができるように努めています。

(あさひ希望の里 山本)



季節 季 蕉



「夏は成長の季節」春に植えられた植物は、暑い夏に葉に太陽のエネルギーを受け、自らの力で成長します。その光合成によってつくられた栄養が幹を通して根に届き、太くしっかりした根を伸ばしていきます。「根幹」という言葉がありますが、「根幹は「物事のおおもとになる最も大切なところ」という意味を持ちます。植物は、夏の太陽のエネルギーを使って自らの「根幹」を成長させているのです。

今夏もすみれ乳児院を巣立った子どもたちが、遊びに来てくれました。幼少期の記憶を辿り、現在の成長を喜び合いました。そんな夏休みの一コマが、子どもたちの根幹を成長させ、この秋からの日々のエネルギーになっていたら嬉しいですね。

(すみれ乳児院 原田)



すみれ乳児院

防災訓練と災害時の食事対策の取り組み

すみれ乳児院では、

歩行が難しい子どもたちを安全に避難させることが防災訓練の最重要課題です。職員は地震や火事などを想定して訓練を行い、日常でも意識を高めています。毎年9月には炊き出し訓練も実施し、職員に



炊き出し訓練



2019年度からは防災食の訓練を開始し、災害時の食事の備えの2020年度からは毎月「防災食の日」を設けます。しかし、普段から料理をする職員でも乳幼児

今年度はパスタやおじゃやをテーマにし、フィたちは味の好みや環境フードバックを行いながら改善を図っています。右されるため、さまざま工夫をしながら今



防災食

後も取り組んでいきます。と思います。

(野本)

豊里学園

夜間の避難訓練

8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生したことを受け、南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。普段の生活を送りながらも地震への警戒、不安が高まり巨大地震が起きたときの準備をしなければいけません。

豊里学園でも夜間に地震が起きたことを想定し、普段の生活を送りながらも地震への警戒、不安が高まり巨大地震が起きたときの準備をしなければいけません。子どもたちの特性に合わせて声掛けの仕方など、改善すべき課題が多く出て、練習をする

としなるとでは大きく違いが出ると感じた避難訓練でした。ただ実際に地震が起きるとパニックを起こす子ども

一人でも多く落ち着いて行動する必要がある。と思いました。

一緒に避難

(小幡)



あさひ希望の里

福祉避難所開設の協定を結んでいます

あさひ希望の里では、

旭区と災害時に福祉避難所として施設を使用する協定書を結んでいます。今年4月にも区の福祉課と防災担当者が来館され、災害時にどれくらいの人数の受け入れが可能かなどの状況確認を行いました。

今後定期的には、マンパワー・備蓄品の確保を含め、災害時に少しでも落ち着いて生活できるように、障害者の受け入れについて協議していくことを確認しています。

能登半島の被災地報告で、支援者がいないため福祉避難所が開設できなかったということがありました。これまでの災害から得た教訓が活かされるよう、国の施策に十分反映されるようにも働きかけていきます。

(磯田)



普段の支援室が避難室に変わります



「第45回あさひ福祉まつり」

のご案内



第45回あさひ福祉まつりを

本まつりは、「みんなの力

いくことも大事にしています。

10月27日(日)に開催します。昨年度はコロナウィルス感染症がやや落ち着き、4年振りに城北公園で開催しました。「心待ちにしていた！」など、本

で、一人ひとりが大切にされる平和で福祉ゆたかな町をきずこう！」をテーマに、福祉を一緒に支えてくれるなかまを増やすことを目的としています。また地域の医療、福祉を担う参加団体が、それぞれの立場から命の大切さや平和の尊さを次の世代に継承して

45回の歴史のなかで築いてきた地域の絆を、今年もまたご来場いただいた皆さんとともに育みたいと思います。今回は各団体のステージ披露のほか、昨年盛況だったミニ動物園、またプロレス団体との交流など楽しい企画をたくさん用意しています。平和や健康などのコーナーや、模擬店もあり、楽しく美味しいまつりで賑わいます。ぜひ遊びに来て下さい。



今年も城北公園で行います



第45回あさひ福祉まつりの詳細はこちら

あさひ福祉まつり事務局長
上垣(あさひ希望の里)



今年も地蔵盆に行きました



今年も8月23日、24日と地蔵盆がありました。地蔵菩薩は子どもと縁の深い仏様といわれており、地蔵盆の主役は子どもたちと伝えられています。今年も豊里学園の子どもたちは元気に参加させていただきました。子どもたちはお参りをし、お菓子と当てものおもちゃをもらって大満足でした。帰ってきてからも「またお昼からも行くの?」「次はいつ行くの?」など、早くも来年が待ち遠しい様子でした。

地域で子どもたちが安全で安心して生活できるように、いつも見守って下さるお地蔵さまに感謝したいと改めて思いました。猛暑の中、準備や運営を町会の皆様、ありがとうございました。

(豊里学園 今崎)



しあわせ秋のレシピ

あさひ希望の里 調理師 木村



里いもサラダ

この時期に出盛りになる里いもは甘さや粘りは格別です
ぜひ作ってみてください



【材料】 (4人分)

・里いも	500g	★塩	3g
・人参	1/3本	★胡椒	適量
・きゅうり	1/2本	★マヨネーズ	80g
・ハム	4枚		



【作り方】

- 皮をむいた里いもを半分に切って、8分ほど火が通るまで茹でる。
- 皮をむいていちょう切り(2mm厚)にした人参を①の鍋に加え、柔らかくなるまで茹でる。
- ②をざるにあげ、細切りにしたきゅうり、ハムを加える。
- ★を混ぜ合わせて完成。

わが町 お店探訪



「麺屋國丸 旭軒」

味噌ラーメンで世界中に笑顔を
コクのある特製味噌スープ。そのような濃厚スープ
がしっかりからんでも小麦の風味・旨味が感じられ
るもちもち中太麺の味噌ラーメン。メニューによっ
て、北海道百年味噌・信州真田味噌・金の炙り味
噌・辛味噌とたまご麺・全粒粉麺があります。味噌
ラーメン専門店だからこそのこだわりの一杯が楽し
めるお店です。



住所 535-0021
大阪市旭区清水5丁目13-6
電話番号 06-6924-9238
定休日 なし
営業時間 平日/11:00~15:00
17:30~22:30
土日祝日/11:00~22:30
(L.O 22:00)

ご寄贈・ご寄付ありがとうございました

〈2024年 7月~9月〉

(敬称略・順不同)

豊里学園

【寄贈】 株式会社ガンバ大阪 井原 直美 寺尾 修 丸栄青果 西 喜雄 安田 寧々 株式会社S
株式会社ユーコンスカイ

【寄付金】 鳥屋尾 豊 檜木 富大

すみれ乳児院

【寄贈】 小島 崇嗣 鈴木 信行 石田 美憂 株式会社エス・ディ・ロジ 児童福祉施設連盟 H2Oサンタ
株式会社 美管理 寺本 正人 旭区社協(善意銀行)担当 水戸 由美子 明治ロジテック株式会社
赤木 まどか 赤木 七瀬 (一社)日本こども福祉支援協議会 tsumugu sewing room
鈴木 大 小山 貴夫 小林 栄子 佐伯 知衣子 浅野 絢 圀府寺 美 天野 久子

【寄付金】 (一社)日本こども福祉支援協 議会 小島 崇嗣 千住 真理子

あさひ希望の里

【寄付金】 あさひ希望の里・家族会

